

豊島岡女子学園

2009年版

市販の学校案内は、良いことと大まかなことしか書かれていません。
受験サポート進学教室アシストでは、「生」の情報を大切にしていきたいと
考えています。

客観的視点も大切ですが、主観的視点も一意見として取り入れるべきです。
高校三年生のお嬢様をもつ保護者の方にご協力いただきました。
学校選択そして入学後の目安としてご活用いただければと存じます。

はじめに

中高6年間お世話になった保護者の立場からの観点で書かせていただきました。毎年、細かい変更はありますので、その点をご承知おきください。私ども家族の主観が入っていると思いますので、その辺りもご理解ください。

制服について

☆ 胸あての無いセーラー服なので、セクシーな襟元が気になります。最初は少し大きめのサイズを選ばれるでしょうから、襟が紺色のV形に縁取られているアンダーシャツを、制服注文の際購入されて着用すると良いと思います。半袖と長袖がありますが、寒がりさんでなければ半袖で大丈夫です。高校生になりますと、下着にもこだわりが出て、皆さん色々なアンダーウェアを着ています。(ちょっとびっくり！もあるそうです)

衣替えは、夏服へ冬服への移行期間が設定され、学校側は柔軟な対応をしてくださいます。でも、セーラー服は気温に対しての調節が限られており、襟が二重になっているので、かなり暑く、襟元が開いているので、かなり寒いです。着る期間は短いのですが、合服もあるとよいかと思います。

☆ スカートの丈は、購入の際、ひざが隠れる長さのみ(校則ですから当たり前ですが)の販売です。でも、生徒さんのスカート丈は、学年が上がると段々短くなる傾向にあります。以前のジャンパータイプから普通のスカートに変わりましたので、ウエスト部分で調節して短くするのです。私個人的な感想は、多少短い方がかわいいかな、とも思いますが、極端に短い生徒さんもいて、外部の方や同窓生の方から学校にお叱りの電話がかかってくるそうです。

2009年4月新学期より、制服着用に関して厳しく指導されるようになりました。服装の乱れが気持ちの乱れにつながり、生活や勉強の向上を妨げるから、と保護者会で説明がありました。

☆ ソックスは学校指定品のみ許可されます。運動部の生徒さんは部活の時に履き替えるそうです。購買部が開いている時間にしか購入できず、運動会や修学旅行の前など需要が多い時は品切れになるので、まとめて購入された方がよろしいかと思います。お値段が高いわりには、すぐつま先に穴があきますので、我が家は、何回かは繕ってはかせました。(恥ずかしい、と言いますが、無視です。無視)

☆ セーターは、個人の好みや体温調節が様々ですから、「ぼろぼろになるまで着ているわ」、という方と、「購入したけど全然着ていない」、という方がいます。学校内は快適に温度設定されていますから、通学の電車内の温度などを考慮されて購入して下さい。コートも同様です。デザインがちょっと・・・なので、真冬でもセーターで通学する生徒さんが多くてびっくりします。コートは学年が上がると、着用率が下がるように思います。

携帯電話について

許可申請書を学校に提出すれば、学校に持っていくことができるようになりました。校内では電源を切らなくてははいけません(あたりまえの事)親としては安心です。ただし、授業中などに着信音がなったりすれば、即没収です。携帯電話は親が学校へ取りにいかねばならない場合もありますから、くれぐれも気をつけて下さい。ちなみに、漫画本など禁止されているものが見つかった場合は、没収後、生徒が取りにいけます。皮肉をこめて、素晴らしく綺麗にラッピングされて返ってきた例もあるそうです。(でも、子供の鞆には、お菓子、漫画、CDなど満載です・・・???)

学校行事などについて

☆ 入間体育

一学期に1回、二学期は運動会前に1回と運動会の計3回入間グラウンドへ行かねばなりません。家から学校指定のジャージ上下を着て鞆を持って（ミスマッチ！）行きます。高校生などは制服で行き、駅のトイレでジャージに着替える生徒もいるそうですが、先生方が要所にいらっしゃるの、見つかると怒られます。天気が良いとかなり日焼けしますので、日焼け止めクリームは必需品です。

☆ 授業参観

中学全学年と高1の授業参観が行われるようになりました。一日中参観OKです。他のクラスや他の学年も見られますから、気になる先生の授業はチェックできます。人気のある先生の授業は、保護者で一杯です。生徒はすぐそばで覗き込まれたりするので迷惑かと思いますが、学校側の心意気が感じられる試みなので、継続していただくと良いなと思います。

☆ 個人面談

一学期と二学期に1回ずつ個人面談があります。定期考査の後が多いので、出来が悪い時は、本当に行きたくないですね。担任の先生によっては子供と3人の面談になることもあります。テスト成績表を渡され、勉強面と生活面などのお話です。中3の二学期の面談では、自分が中学で何を学んできたか、高校では何を学びたいかを話させたクラス（担任）がありました。面談は何日間もあるので情報がまわり、子供達はプレッシャーだ〜と騒いでいました。でも、親も是非聞きたい内容ですよ。高校になると、大学進学の話が中心になります。

☆ 英語弁論大会

クラス内オーディション後、各クラスから2名が代表で選ばれて、講堂で中学生全員と来訪保護者の前でスピーチします。一年生、二年生は指定の文章や詩を覚えれば良いのですが、三年生はテーマを決め自分で英作文します。これが、夏休みの英語の宿題のひとつになります。娘は中3で出場することができました。

☆ 合唱コンクール

三学期の2月に中学は合唱コンクールがあります。お時間があれば、是非聞きに行らしてください。学年が上がるにつれて朝練習の回数も増え、親も早起きしてお弁当作りとなります。寒い時期なので、結構辛いですが（1ヶ月前から始まることもあるので）、クラスの為に親も頑張りましょう。合唱部の生徒さんが中心になって練習をしていくのですが、練習の方法や回数など、いろいろ問題が出てコンクールまではなかなか大変です。でも、最後はクラスもまとまり、素晴らしいハーモニーを聴かせてくれます。娘の時代には、講堂で行われていたので、保護者が全員ホールに入れませんでした。今は、池袋の東京芸術劇場で行われるようになり、全学年の演奏を聴くことができるようになったそうです。（経験なし・・・涙）

☆ 入学式

当日は、朝、玄関で子供と別れて、保護者は直接講堂へ入ります。子供達は登校日に発表された、それぞれの教室で整列して、クラスごとに講堂の後ろから入場し、着席します。全員が同じ制服ですから、わが子をビデオ撮影したくても、あら！どこにいるのかしら？ということになります。入場の際、しっかり確認してくださいね。全員の名前を呼び、返事をしますから、声は聞くことができます。

入学式後に教室へ移動し担任のお話等があります。入学式の日には教科書類が配布されますが、娘の時は全部で44冊でした！机の上にはうず高くつまれた教科書達の姿は、想像を超えるものがあります。夫婦2人でやっと持ち帰れる重さです。紙袋では破れますので、丈夫な袋を持参してください。機内持ち込み用のスーツケースを持参された方もいましたが、正解です。私は宅急便で送ろうか・・・とまで考えました。でも、その場でさっさと名前を書いて、各自が使用できる鍵付きロッカーにしまわれた親子さんがいて、目が釘付けになってしまいました。主要教科は持ち帰った様子でしたが、音楽、体育、美術などは、置いて帰られたようです。かなりの重さですから、覚悟しておいてください。黒の油性ペンは持参すると良いと思います。上履きの名前を書き方も指導されますから、事前に書かなくても大丈夫です。

勉強面について

☆ 試験

きめ細かい指導で、親は本当に安心ですが、宿題やテストは多いです。中間、期末テストの他に実力テスト、漢字、英単語、計算（中学）、理科（高校）テストがあります。定期考査は順位の張り出しはありませんが、実力テストは、総合順位30位と、各教科30位の名前が廊下に張り出されます。（高校は50位まで）

最初は緊張しますが、実力テストは成績に関係ないので、「実力テストは実力で・・・」と開き直れるようになりますから大丈夫です。

漢字テストなどの小テストは、基準点以下ですと翌日から合格するまで追試です。授業前に追試が行われる為、朝早く登校しなければなりません。親も早起きしなければならず大変ですよ。でも、年間予定表に全てのテスト予定が出ますから、コツコツ準備すれば大丈夫です。追試も自分の為ですから、めげずに頑張りましょう。

家庭科は、中間期末両方にテストがあります。（裁縫学校のなごり？）数学と英語はAとBに分かれていて、それぞれテストがありました。国語は中3から、現代文と古典に分かれます。

高校生になると、選択科目により、試験科目数が異なってきます。高2より、文系理系に別れ、高3でさらに細かく科目を選択しクラス分けされます。人数調整の為、クラス全員が同じ科目を取らないクラスも出てきますが、文系と理系が混ざることもあります。豊島岡は中1から高3まで、毎年クラス替えがあります。

☆ 宿題

中学生の宿題は多かったです。宿題は夏休みが一番多く、冬、春の順番でしょうか。プリントや問題集、調べてレポートなど、様々な宿題が出ます。美術や家庭科も含めて多くは終業式に出されますが、最後の授業で出される場合もあるので、早めに片付けてしまうことをお勧めします。休み中、部活が毎日ある生徒さんは本当に大変だそうです。最後は親が大活躍？した家庭も多く、いけないとは思いつつ、我が家もそうになりました。

☆ 学期前後、自宅学習日、英検

二学期、三学期の始業の日は、一時間目が始業式になるだけで、二もしくは三時間目から即授業開始です！

宿題と授業の用意、上履きなども持っていくので、大荷物になります。本当に体力勝負！始業式後で多少休暇中の話などされる先生もいらっしゃいますが、多くの授業が普通どおりに進みます。宿題と予習の両方をせねばならぬ始業式前日は、本当に大変です。何故もっと早く宿題を終わらせないのか、と毎年成長しない娘を嘆いておりました。さすがに高3には宿題は出ません。各自の判断で大学受験にむけて勉強します。

期末テスト後は、答案解説など登校日がありますが、終業式まで他の日は原則お休みです。補講等の呼び出しが（先生によりますが）あることも。部によりますが、部活もあります。旅行などはしてはいけないのですが、大胆にも海外旅行をなさる方もいます。旅行は学校に届けを出すので、どうなさっているのかなとは思いますが・・・外出はせずに自宅学習するように指導されますが、生徒同士で遊びに行くことが多いですね。中間テスト後のお休みはありません。中学生は遠足があります。高校生は、中学生より試験日が長いので、遠足のバスを羨ましく眺めながら登校するそうです。

英検を学校単位で強制的に受けることは無いですが、学校でまとめて申し込みもしてください。もちろん個人で申し込みもOKです。学校申し込みをした生徒で、希望者は、3級以上の2次試験の模擬面談を先生方のご好意でしていただけました。豊島岡の先生方は、こちらからアプローチすれば本当に親身になって面倒みてくださいますので、怖がらず（？）に活用（？）してください。

☆ 高校進学試験

中3は、高校受験を一般生と一緒に受けます（受験料も引き落とされます）。推薦入試（これは無料）も受けるようになり、希望者には合格か不合格かが伝えられました。

一般入試は受験票（さすがに写真添付はなし）もあり、高2の先輩がお手伝いとして内進生のクラスにもきます。先生方は、毎年皆が遅刻しないで受験しているか、とても心配なのだそうです。受験すれば、全員合格となります。合格か不合格かは希望すれば聞くことができますが、毎年2割くらいは不合格ラインだそうです。入学時は、さほど成績の開きはなくても、こうした結果を知ると、3年間の積み重ねは大きいなと思います。そして、2月中旬には、高校入学金が引き落とされます。

☆ 海外語学研修

高校1年生と2年生の夏休みに希望者は語学研修（現地でホームステイ）に参加できます。2007年度はニュージーランド（7月23日～8月12日、¥557500、30名）とカナダ（7月25日～8月13日、¥652500、20名）の2ヶ国で行われました。出発時の2年生が優先されるので、1年生（中3）は抽選となります。

1月末に全体説明会があり、参加希望書を提出し、2月に抽選がありました。2倍の難関をみごとく引きでGETした娘は、高1の夏にカナダへ行ってきました。3～7月まで、英会話や海外の生活習慣、危機管理などの研修会が行われました。観光旅行ではないので、親子共に不安でしたが、自立の良い機会だと思い参加させることにしました。壮大な自然の中で、素晴らしい経験ができ、とても有意義な体験だったと思います。

☆ 二木賞

全教科の成績と人格などの内面も総合的に評価して決めるそうです。前期後期の年2回、各学年2名ずつ選ばれます。残念ながら、我が家には縁がありませんでしたが・・・。

☆ 学校講習、塾など

中学入学すぐから塾へ行かれる方は、それ程多くありませんでした。まず通信添削から始めて、苦手教科がではじめると、塾へ移行されていく様子でした。我が家は、Z会の通信添削を申し込みましたが、段々溜り始めたので教科を減らしていき、中学3年で退会しました。きめ細かい添削で、正解にも解説が書いてあり、とても良かったのですが、時間的に学校の宿題や予習だけで精一杯となりました。豊島岡の授業だけで大学合格される先輩も大勢います。補習や講習も多くありますので、まず通学と学校に慣れる事、学校の宿題、予習、テストを大事にする事を優先してください。ただ、東大と医学部を目指している場合はこの限りではない・・・と聞いております。

我が家は、高1で駿台を短期間受講し、高2より小規模の塾で、数学の授業と数学の個別指導を受講しています。理系を選択しつつ数学が苦手なものですから、苦勞しております。英語は、中1の基礎英語からNHKのラジオ講座を、本当に1日も欠かさず聞いていることが良かったのでしょうか・・・得意科目となっています。塾へは行かず、自分で勉強しています。「継続は力なり」とは本当だと実感しています。おかげで、カナダへのホームステイでも、会話に不自由することなく、「発音がきれい」と褒められて、ますます英語が好きになりました。

大学受験の勉強は、中1から始まっています。地道にコツコツ学校の勉強をし、なるべく主要教科（国、数、英）が苦手科目にならないようにしておきましょう。そして、高2から本腰をいれていくと良いと思います。これは、先輩達の話です。大学受験は、中学受験と違い、全国の同学年男子女子、浪人生と同じ土俵に立たねばなりません。1月のセンター入試から3月末までと、試験期間も本当に長くて、気力体力根性と運？が必要だそうです。中高6年は長いようで短いですよ。

役員、保護者同士のお付き合い

クラス役員は、まず中1で各クラス2名選出し、基本的に任期は卒業までです。ちょっと変わっているシステムですが、翌年のクラス替えで旧役員が2名以上いれば、選出なしでそのまま。いなければ1～2名選出していきます。学年が上がるにつれ役員の人数は増えていき、クラスによっては5名、ということにもなります。

私は、中2のクラスに役員がいなかったのも、お引き受けし、高3の現在も役員をしております。家庭の都合などで辞めることも可能ですし、難しい仕事は何もありません。年に3回の役員会と鳩愛会総会に出席（都合が悪ければ欠席しても大丈夫）すること、クラスの懇親会として、お食事会をセッティング（強制ではない）すること、これだけです。何故役員が必要なのか？それは、私学助成金をいただくお願いの会への人数動員確保の為です。2009年度は、豊島岡が支部長校なので、大勢の動員が必要ですが、来年以降はしばらく当番校にはなりませんので、役員の仕事は少ないはずで、学校の様子を知るよい機会となりますから、気楽に引き受けてみてはいかがでしょうか。私はとても楽しかったです。

親が学校へ行く機会はそれほど多くありませんので（授業参観、保護者会、個人面談など）他の保護者の方々と親しく話ができるのは、クラスのお食事会くらいでしょうか。クラス役員がセッティングして、クラスにもよりますが年に1～2回あります。強制出席ではありませんが、友達の保護者の方を知り、いろいろな情報を得る良い機会だと感じております。娘の中1のクラスはとても仲が良く、有志のみですが、保護者のお食事会もまだ継続しています。（卒業後も継続の予定）こちらの会は持ち回りで幹事を決めて、和気藹々、楽しいひと時を過ごしています。兄姉をお持ちのお母様に、大学受験情報などを教えていただいたり、他のクラスの話が聞けたりするので、「まったく、うちの娘は学校の話なんて全然してくれない」とお嘆きのお母様は、是非活用なさってください。

同じ部活の保護者の方ともコンタクトを取って、お食事会などを行っています。地元の中学校に通学していれば友達の保護者の方はわかりませんが、様々な所から通学してきますので、さてどんなご家庭のお嬢様かしら？と不安になることもありますよね。特に、仲良し度が進みますと『お泊り』に発展しますから、なるべく友達の名前を聞いておいて、お食事会などで積極的に話をされるといいかな、と思います。この頃は、携帯電話が普及し、子供のお友達も把握できないのが現状です。今はメールという便利なものがあり、お母様方の情報交換手段には欠かせません。

部活について

部活は全員参加です。運動部はハードだと聞いていますが、部員同士の結束は固いようです。合唱部も練習が沢山あって大変かもしれません。運動部は大会、文化部は桃李祭がメインイベントになります。娘は化学部です。抽選で5名しか入部できない年でしたが、見事当たりを引き、入部できました。文化祭では、化学マジックやもの作りで頑張っていましたので、ご覧頂いた方もいらっしゃるかもしれませんね。

豊島岡は、完全下校が、4月～桃李祭（11月上旬）までは17時30分、それ以降は17時です。部活もその時間内ですから、通学に時間がかかっても、地元の中学校の友人より早く帰宅できたりします。転部も自由なので、あまり真剣に考えなくて大丈夫ですから気が楽です。

運針

入学前に練習する必要は、まったくありません。最初は先輩が指導に来てくださいますし、すぐ慣れますよ。

娘達は、中3の京都修学旅行で枕投げをし、破れた枕を上手に繕ったそうですから、成果が出ました。運針に関しては心配いりません。それより、入学前の春休みは宿題を頑張ってください。

お弁当

中1は、教室が5階なので、お昼に食堂まで行くのは大変です。「中1は友達作りもあるので、なるべくお弁当を持参してください」とのことです。1学期を過ごすと、子供も要領を得て「明日は移動授業だから、その帰りに食堂で食べるよ（買うよ）」などと親を喜ばせてくれます。友達同士で、何曜日は食堂の日、と決めたりもするそうです。定期考査最終日は、試験前1週間無かった部活が始まり、時間に余裕があるので、食堂に行くことが多かったですね。食堂に献立表が貼られているので、それをチェックして、楽しみにしていることもありました。

自動販売機の飲料類も種類が豊富で楽しいですよ。女子校らしい内容だなあと感心したことを覚えています。

通学

我が家から学校までは、途中1回乗り換えをして1時間半ほどかかります。ラッシュを避け、座っていくために、6時26分の電車に乗り、最初の50分は睡眠タイムです。私は毎朝5時起床し、お弁当を作り、車で駅まで送ります。入学当時、147cm、30kgだった娘は、重い鞆（半端な重さじゃありません。通常5～7kgあります。最高は11kgでした）を片手で持たなくてよろよろしていましたので、見かねて車で送るようになってしまいました。今は、163cm、縦横共（態度も）大きくなり、鞆も片手でひょい！階段も猛ダッシュできるようになりました。最初に送り迎えの習慣を作ってしまったので、高3の今でも、朝は100%送ります。最後まで送り迎えはやるしかありません。乗り過ごすことも多々あり、遠距離通学は、大変です。私が保護者会などで学校に出向き帰宅すると、疲れた～と思います。毎日通学し、6時間勉強し、部活もやるのですから子供は大変です。新幹線通学の方、片道2時間の方、いろいろですが、通学時間も学校選びの判断材料に加えてください。子供は成長と共に体力もつきますが、親は年々年老いていきますから、6年間、親子で頑張れる！頑張るぞ！と思える通学時間が望ましいと思います。それから、乗り換え回数が多いのも大変です。長時間でも寝ていけると、ラッシュにもまれて何回も乗り換えるのでは、疲れ方が全く違います。一度、通学時間帯に、実際に交通機関を利用して、様子を体験されたら良いと思います。

♪中高6年間で過ごして

親子共に、良い学校に通えて幸せだと感じています。高3になり、その気持ちは益々強くなった様子です。

「卒業したくないな～」という言葉が出るほどです。きめ細かく面倒見の良い指導は、娘に合っていましたし、友達関係も良好でした。携帯電話持込が許可されたり、一年中靴下でOKになったり、こちら側の要求も柔軟に受け入れてくださる学校です。ただ、感じ方や捉え方は様々ですから、校風が合わずに転校していく方もいます。

先生方との相性も全員が良いわけではありません。（豊島岡が、今のような高い偏差値の学校になる前から勤務されている先生もいらっしゃるわけですから）中学、高校の勉強は自分で考えてやっていくものです。中学受験は通過点です。合格がゴールではありません。

6年後の自分はどうかを模索し、楽しく有意義な6年間にしていくことが大切です。豊島岡には、素晴らしい先生も大勢いらっしゃいますが、塾のように懇切丁寧な面倒見はありません。自分から積極的に質問等に行ってください。必ず答えてくださいますから。

中学時代はパラダイスだったそうです。高校受験もなくのびのびと過ごし、遠足や合唱コンクールなど、行事もあり楽しかったのでしょう。高校生になると、先生達が大学入試に向けてモードに切り替わります。長いようで短い6年間です。少女から大人の女性に変わっていく成長は目を見張るものがあります。淋しいけれど、中学受験後は、少しずつ子離れしていきましょう。皆様が素敵な6年間を過ごせますように祈っております。

2009年8月